



2月4日（火）チーム神於山 有志活動報告

2014.02.09
シャープ社友会
チーム神於山 真砂

- 活動日時：2014年2月4日（火） 13:00~15:30
- 参加者：チーム神於山 社友GS 3名（香遠さん、山本さん、真砂（記））
- 活動内容：

◆神於山保全活用推進協議会の合同活動に、SGC 神於山シャープの森のGSを代表して参加。

- ・神於山保全活用推進協議会は、神於山及びその周辺の豊かな自然環境を保全し、森の産物を資源として活用して豊かな里山として蘇らせると共に、地域の活性化を図ることを目的に、平成15年（2003年）に設立された協議会で、シャープも神於山シャープの森開設以来 会員となっています。
- ・今回の活動は、昨年度策定した「神於山自然再生活動指針」で、来場者の安全や、活動団体間の連携のために合同活動などを実施することとしたことに基づき、神於山保全活用推進協議会事務局（岸和田市環境部環境保全課）が企画されたものです。
- ・当日は、加盟各団体から合計24名の有志が参加し、二班に分かれて園路の老朽化した二つの丸木橋を架け替え、岸和田市と大阪府森林組合共催の市民参加型事業の「神於山 まごの森」の下草刈りしました。
- ・SGCの有志3名は、刈払機3台を持参して「神於山 まごの森」の下草刈りを応援しました。
- ・同じ神於山で自然再生に取り組みながら 日頃は疎遠になっている活動団体が、一堂に会して活動することは、相互の交流を深め、連携を強化する上で効果が有り、今後も継続して企画されることを期待しています。

◆神於山シャープの森添いの林道は、神於山で第2位の「あべのハルカス」のビューポイント。

- ・ビューポイント第1位は、いつも入山するウバメガシ地蔵の車止めを越えて少し上がったところのカーブですが、第2位は、何と神於山シャープの森添いの林道であることが判りました。
- ・次回の活動日に確認してください。

1. 丸木橋の架け替え。

- ・今回の活動は、地元小学生が郊外学習等で利用する老朽化した丸木橋の架け替えと、「神於山 まごの森」の下草刈りがテーマでした。



もう一つの橋も修復完了



before

一部腐食して穴が開き、危険な状態でした。



after

幅は狭くなりましたが頑丈な橋になりました。



作業風景

現場に丸太を運んで切り揃え、沢に架けて杭で留め、番線で縛って完成です。



- ・先ず神於山保全くらぶさんが事前に用意されていた 皮を剥いだ丸太を、全員で小高い峰の頂上から沢に降りました。
- ・危険な作業でしたが無事終了です。



- ・古い丸木橋を撤去し、崩れそうな土手を丸太で補強しました。かなりの作業です。



- ・新しい丸木を並べ、隙間が出来ない様に左右を杭で留め、番線でしっかり縛って完成です。

2. 「神於山 まごの森」の下草刈り。

刈払機と手鎌のコラボでスッキリさせました。



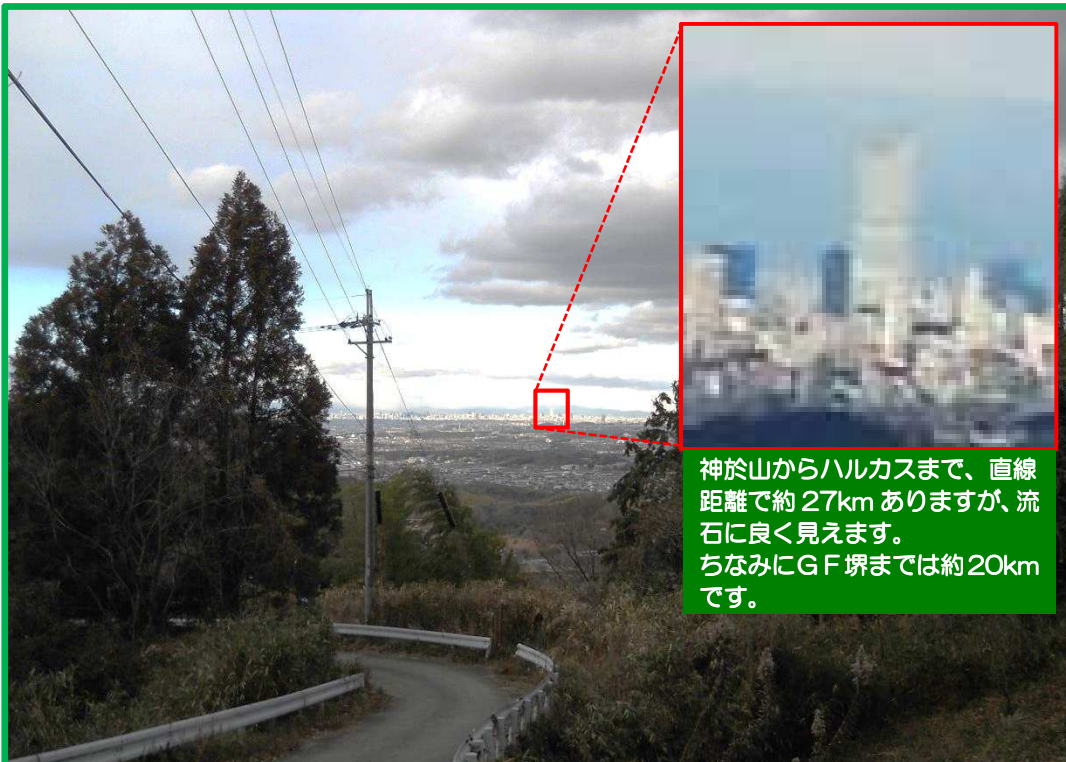
SGCの3名は刈払機で、他のメンバーは手鎌で刈り込みました。斜面が急で、足場を確保しながらの作業です。



参加された24名の皆さん。撮影は岸和田市環境部の岩佐さんです。

- 神於山まごの森は、林道から展望台に向かう園路沿いの横に長い斜面で、クヌギ、コナラ、ヤマザクラ、モミジという里山を代表する樹木が植林されています。
- 現場の状況は、ネザサが茂っている部分と、シャープの森の植栽地では見かけなくなったイバラや小灌木が繁茂している部分に大きく分けられることから、ネザサの部分は手鎌で、イバラや小灌木が茂っている部分は刈払機で、それぞれ刈り込みました。
- 右の写真は、活動後の集合写真です。

3. ご報告：神於山シャープの森添いの林道は、神於山で第2位の「あべのハルカス」のビューポイントです。



神於山からハルカスまで、直線距離で約27kmありますが、流石に良く見えます。ちなみにGF堺までは約20kmです。

- 撮影した場所は、林道から多目的広場に入る入口（神於山シャープの森の看板が有る位置）の林道です。
- 林道は、ここから展望台に向けて神於山で最も急な坂道になりますが、しばらくは直線ですから、どこからでも見ることが出来ます。
- 神於山の展望台からは、木の枝を透かして見る形になりますから、冬の落葉期だけで、葉が茂ると見えなくなります。

少し傾いて見えるのはカメラのせい、実際はまっすぐ建っています。念のため。

以上